

# 12月1日は 世界エイズデー

「続けようkeep the promise, keep your life」

今年の世界エイズデーは「続けようkeep the promise, keep your life」をテーマに、エイズに関する正しい知識等についてのPR活動を推進し、エイズ蔓延防止や患者・感染者に対する差別偏見の解消を目指します。

このテーマは①仕事も生活も続けよう、②抗レトロウイルス治療を続けよう、③エイズの流行と闘う人達を支え続けよう、④予防と支援のメッセージを送り続けよう、⑤ユニバーサルアクセスを目指し続けよう、⑥関心を持ち続けよう、の6つのメッセージからなっています。

県では世界エイズデーに合わせ、保健所等で臨時検査や普及PR活動を実施します。この機会に、改めてエイズについて考えてみませんか。

詳しくは埼玉県ホームページ「世界エイズデー」特設サイト (<http://www.pref.saitama.lg.jp/site/kansen/worldaidsday.html>) をご覧ください。

問い合わせ／県疾病対策課 (☎048・830・3557) へ。

## 熊谷保健所での臨時検査について

日時／12月1日(水) 午前9時～11時(予約制)  
場所／熊谷保健所(熊谷市末広3-9-1、埼玉県熊谷地方庁舎2階)  
費用／無料(ただし、クラミジア血中抗体検査は1,860円)  
内容／HIV抗体検査、梅毒検査、B型肝炎抗原検査、C型肝炎抗体検査、クラミジア血中抗体検査  
検査結果／約2週間後に、熊谷保健所で直接お伝えします。  
予約・問い合わせ／熊谷保健所保健予防推進担当・感染症担当(☎523・2811) へ。

## 日本脳炎予防接種について

本誌9月号で、日本脳炎予防接種の3歳児に対する積極的接種勧奨についてお知らせしましたが、厚生労働省から通知があり、特例措置として接種が可能になりました。

ワクチンの安定供給が懸念されることから、個別に通知等は行いませんが、日本脳炎流行地(朝鮮半島、台湾、中国、ベトナムなど)に渡航する場合や蚊にさされやすい環境にある等感染が心配される場合、接種対象年齢を経過してしまう場合等、特に接種を希望する場合は公費による接種が受けられます。

接種を希望する保護者の方は、個別予防接種依頼書を発行しますので、お子さんの母子健康手帳をお持ちになり、保健福祉総合センターにお越しください。

対象／3歳以上7歳6カ月未満および9歳以上13歳未満で、日本脳炎予防接種1期(初回の2回、追加の1回、計3回)が未完了のお子さん

※7歳6カ月～8歳のお子さんは9歳になった時点で対象になります

注意事項／9歳以上13歳未満で、1期接種が完了しているお子さんは2期接種の対象となるため、今回の特例措置接種の対象にはなりません。現時点では2期接種対象者の再開はしていませんが、新しい情報が入り次第お知らせします。

日本脳炎についての詳しい情報は、厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/qa/kenkou/nouen/>)、または国立感染症研究所感染症情報センターホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/disease/JEncephalitis/index.html>) をご覧ください。  
問い合わせ／保健福祉総合センター(☎581・8500) へ。

# ノロウイルスによる 食中毒・感染症にご注意を!

ノロウイルスによる食中毒や感染性胃腸炎は年間を通じて発生しますが、特に冬季に流行します。これから流行期を迎えますので予防と対策を徹底しましょう。

## 食中毒予防の3原則

- ①菌を付けない
- ②菌を増やさない
- ③菌をやっつける(殺菌する)

### ノロウイルスに感染すると?

感染して1、2日後に、吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱などの症状がでます。一般的に症状は軽いことが多く、ほとんどの場合2、3日で治りますが、高齢者や幼児など抵抗力の弱い方は重症になることもあります。また、初期症状は風邪と間違えやすいので注意が必要です。感染が疑われたら医師の診察を受けましょう。患者は、症状がなくなっても通常は1週間程度(長いときは1カ月程度) ウイルスを排泄するので注意が必要です。

### 感染する原因は?

- ①ノロウイルスが大量に含まれる患者のふん便や吐づつから、人の手指などを介して感染する場合
- ②家庭や共同生活施設など、人同士が接触する機会の多いところで、吐づつなどの飛沫や、人から人に直接感染する場合
- ③食品を調理をする人が感染しており、その人を介して汚染された食品を食べた場合
- ④ノロウイルスに汚染された二枚貝を、生または十分に加熱しないで食べた場合

### 予防するための注意

患者のふん便や吐づつには大量のウイルスが排出されます。次のことに注意しましょう。

- ・食事の前やトイレの後などは、必ず手を洗いましょう。
- ・下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業を控えましょう。
- ・胃腸炎患者に接する方は、患者のふん便や吐づつの処理に十分注意し、床などの消毒を行い、感染をひろげないようにしましょう。
- ・吐づつの処理や床などの消毒には、使い捨ての手袋やマスク等を着用し、希釈した次亜塩素酸ナトリウムに浸したペーパータオルを使いましょう。
- ・加熱調理用の二枚貝等、加熱が必要な食品は、中心部までしっかりと加熱しましょう。中心温度が85℃以上で1分間以上が目安です。また、調理器具は使用後に洗浄、殺菌しましょう。

### 【次亜塩素酸ナトリウム消毒液の作り方】

台所用漂白剤として市販されている次亜塩素酸ナトリウム濃度6%の塩素系漂白剤と1.5リットルのペットボトルとキャップを利用し、次の量の原液と水を入れて1.5リットルにしてください。

吐づつの処理／キャップ5杯(濃度0.1%)  
床などの消毒／キャップ1杯(濃度0.02%)

問い合わせ／熊谷保健所(☎523・2811) へ。

追加実施  
します!

# 特定健康診査・健康診査・がん検診

町では、特定健康診査・健康診査・がん検診を追加で実施します。今年度、健診(検診)を受けていない方は、この機会を利用し、健康管理に役立てましょう。なお特定健康診査・健康診査・がん検診は完全予約制となります。

深谷市・大里郡医師会メヂカルセンターへ事前の申し込みが必要です。健診(検診)希望日の1週間前までに必ずお申し込みください。

## 深谷市・大里郡医師会メヂカルセンター健診(検診)実施予定表

○印の日が受診可能日です。

平成22年12月							平成23年1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4							1
			×	○	○	×							×
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
×	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×	○	○	○
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
×	○	○	×	×	×		×	○	○	○	○	○	×
							30	31					
							×	○					

## 予約受付電話番号／572・2411

場所／深谷市・大里郡医師会メヂカルセンター(深谷市常盤町62-2)

定員／1日につき3人程度

予約方法／健診(検診)実施予定表から希望する受診日を選び、電話で予約してください。

予約開始日／11月5日(金)から

予約受付時間／午前9時～正午、午後1時～5時(土・日曜日、祝日を除く)

※定員になり次第締め切ります。予約した方には、後日、問診票等を送付します。

### 【各種健診の内容】

種別	対象		検査内容	費用	問い合わせ
	年齢	医療保険等			
特定健康診査	40～74歳	寄居町国民健康保険	問診、身体計測【身長、体重、BMI(肥満度)】、腹囲(75歳未満の方)、理学的検査(診察)、血圧測定、血中脂質検査(中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール)、肝機能検査(GOT、GPT、γ-GTP)、血糖検査(HbA1c)、尿検査(尿糖、尿たんぱく) *医師が必要と判断した方は貧血検査、心電図検査、眼底検査を実施します。	無料	町民課 (☎581・2121 内線106、107)
後期高齢者健康診査	75歳以上	後期高齢者医療			
健康診査	20～39歳	すべての保険(健康診断を受ける機会のない方)			
	20歳以上	生活保護受給者			

\*年齢は、平成23年3月31日現在です。

\*今年度、各種健診を受診された方、人間ドックを受診された方および受診する予定の方は受診できませんのでご注意ください。

### 【がん検診の内容】

種別	対象	検査内容	費用	問い合わせ
肺がん検診	20歳以上の方	問診、胸部レントゲン撮影、喀痰検査(必要と判断された方)	無料	保健福祉総合センター (☎581・8500)
胃がん検診		問診、レントゲン検査(バリウムを飲む検査)		
大腸がん検診		問診、便潜血反応検査(事前に採便容器を郵送し、当日回収します)		